

2014年度 保健事業部の健診で大腸がんが発見された受診者の特徴を見てみました

表1 検査内容で大腸がんの発見人数

検査内容		大腸がん発見人数		合計人数
		早期がん	進行がん	
検便回数	一日法	6	6	12
	二日法	82	48	130
検診受診歴	初回	25	21	46
	1年前受診	56	29	85
	2年前受診	6	3	9
	3年前受診	1	1	2
過去3年間の検診での便潜血検査受診回数	0回	25	21	46
	1回	15	5	20
	2回	12	10	22
	3回	35	17	52
	4回以上	1	1	2

表2 発見された大腸がんに関連の見られた生活習慣

質問項目	回答	大腸がん発見人数		P
		早期がん	進行がん	
人と比較して食べる速度が速い	速い	11	32	.021
	普通	39	39	
	遅い	1	4	
1回30分以上の汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している	はい	23	20	.037
	いいえ	28	55	
日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している	はい	27	23	.010
	いいえ	24	52	

検定方法: X²検定、有意水準5%

大腸がんの予防や早期発見には、以下のことが重要だということが分かりました

- ① 便潜血検査を毎年受けること
- ② 2日分の便で検査をすること
- ③ 運動習慣を持つこと
- ④ 食事はゆっくり食べること

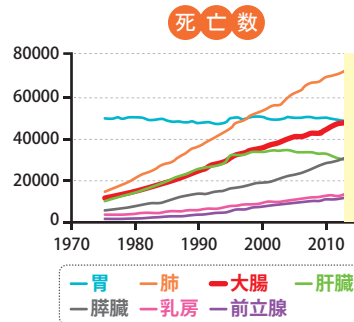
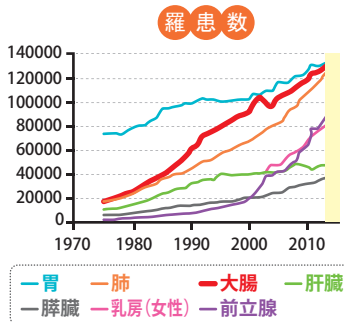
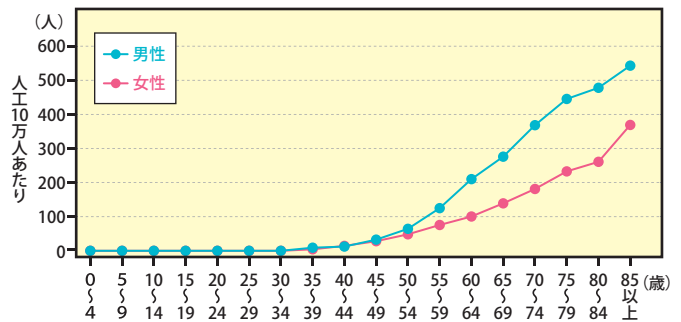
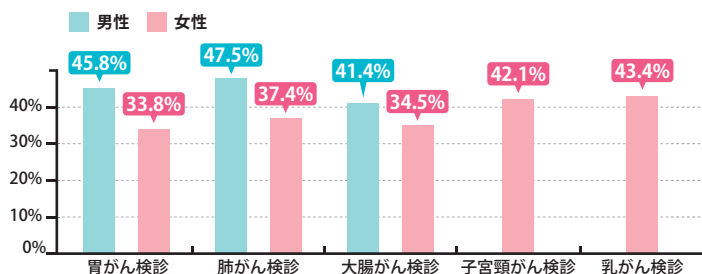
ご存知ですか？
大腸がんが増えているって!!図1 がんの罹患率(がんにかかる割合)と死亡率
引用:国立がん研究センターしかも、年齢が上がっていくごとに
罹患率も高くなる傾向があるんです図2 大腸がんの年齢別罹患率(2011)
引用: 国立がん研究センター がん対策情報センター大腸がんが増えているにもかかわらず、がん検診の受診率は低いのです…
それに加えて、精密検査受診率も低いのが問題となっています。図3 がん検診の受診率
引用:平成25年国民生活基礎調査

表3 精密検査受診率

	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精密検査受診率
日本対がん協会(2014年度)	2,490,927	154,840	104,843	67.7%

大腸がんは早期発見・早期治療で完治しやすいがんです。
早期がんの5年生存率は、約90%と高いことから、早く見つけることが大切です。だからこそ、異常があったら精密検査をする事がとても大切なのです。

保健事業部で
実施する精密検査

それぞれに長所・短所等がございますので、ご相談させていただきます。

● 大腸内視鏡検査

検査費用 6,000～35,000円 (3割負担の場合 平均10,000円)

当日の所要時間 6～8時間

※健康保険の種類、検査内容(組織検査やポリプ切除等)などによって自己負担金は異なります

● 大腸CT検査

検査費用 7,000円程度 (3割負担の場合)

当日の所要時間 約2時間

※健康保険の種類などによって、自己負担金は異なります。 ※上記料金以外に検査食代など約3,000円が必要です。
※事前に検査食を取りに来ていただく必要があります。